

シンポジウムの概要

自治体政策として取り組むべき都市・地域問題が多様化・複雑化する一方で、人口・労働力減少による自治体の行政能力の低下が危惧されています。国全体の財政危機の中で、これからの自治体、大学、NPO、地元企業、市民等はどのように地域社会をつくっていくべきなのか。そのための実践的な取組へ向けた課題について、国、自治体、大学などの視点から総合的に議論を行います。

日時

2024年10月25日（金）
14:00-17:00

会場

茨木市文化・子育て複合施設
「おにクル」1Fきたしんホール
(Zoom配信あり)

言語

日本語（英語による同時通訳付き）



要事前登録

(QRコードよりご登録ください)

申し込みメ切 10月18日(金)

登壇者



門山 泰明

元総務省自治行政局長

総務省自治大学校長、官房長などを歴任し、現在、明るい選挙推進協会理事長・弁護士



福岡 洋一

茨木市長

法律事務所に弁護士業務に従事ののち、2016年茨木市長に当選。現在3期目



後藤 圭二

吹田市長

吹田市役所に道路公園部長などを歴任し、2015年吹田市長に当選。現在3期目



森 道哉

立命館大学政策科学部教授

立命館大学政策科学研究科にて博士学位取得後、香川大学法学部、立命館大学法務研究科を経て現職

第1部

14:00-14:05 開会挨拶 岸道雄（立命館大学政策科学部長）
14:05-14:10 趣旨説明 森裕之（立命館大学政策科学部教授）
14:10-14:40 門山泰明
「都市の可能性・都市の経営」
14:40-15:10 福岡洋一
「次なる茨木への取組みについて」
15:10-15:40 後藤圭二
「吹田市における新しい自治体政策の実践」

-----15:40-15:50 休憩-----

第2部

15:50-16:10 森道哉
「行政学からの認識と質問—各報告の内容を踏まえて」
16:10-16:25 門山泰明氏、福岡洋一氏、後藤圭二氏からの応答
16:25-16:40 会場とのやりとり
16:40-16:55 各シンポジストからの応答
16:55-17:00 閉会挨拶 森裕之



森 裕之
モデレーター

立命館大学政策科学部教授

懇親会

時間：17:40-19:10
会場：茨木市文化・子育て複合施設
「おにクル」1Fきたしんホール
参加費：1000円

2024 シンポジウム 「新時代の社会解決の実践モデルをつくる」

これからの公務員・議員・市民・企業
に求められる公共政策能力

10/25 (金)
14:00-17:00